

# 研究実施のお知らせ

2022年4月18日 ver.1.0

## 研究課題名

食道癌根治切除後のテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤（S-1）を用いた術後補助療法の忍容性に関する研究

## 研究の対象となる方

2001年1月から2022年4月の間に島根大学医学部附属病院で食道癌の診断にて手術を行い、術後に抗がん剤（商品名：エスワンタイハウ）を用いた補助化学療法を受けられた方

## 研究の目的・意義

食道癌の予後は満足のものではなく、治療成績を向上させるためには抗がん剤にて追加治療を行う必要があります。現在、手術の前に投与する抗がん剤はガイドラインに記載されていますが、術後に投与できる抗がん剤については記載がありません。

この研究にて、食道癌の予後改善を目指した術後の補助化学療法としてどの程度抗がん剤（商品名：エスワンタイハウ）治療が継続できるかを調べます。

## 研究の方法

食道癌手術後に抗がん剤（商品名：エスワンタイハウ）治療を受けられた方の治療経過、検査結果、治療成績などを診療記録に記載された内容から調べます。

本研究は当機関のみで行うため他の機関に情報を提供することはありません。また、研究の成果は学会や専門誌などに発表される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

## 研究の期間

2022年7月22日～2024年12月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座 平原典幸

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座 平原典幸

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229